
食肉科研/行政情報等発信サービス

No.187 2019/8/8

1 食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件について

8月5日、厚生労働省は大臣官房生活衛生・食品安全審議官名をもって各都道府県知事等宛標記通知を出した。食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件が同日告示され、これにより食品、添加物等の規格基準の一部が改正されたことに伴うもので、その主な内容は次のとおり。

食品衛生法第11条第1項の規定に基づき、規格基準告示に規定する、農薬イソピラザム、農薬エトフェンプロックス、農薬フェンピロキシメート、飼料添加物ブチルヒドロキシアニソール、動物用医薬品フルメキン、農薬マンデストロビン及び動物用医薬品[モノ，ビス（塩化トリメチルアンモニウムメチレン）]ーアルキルトルエンについて、食品中の残留基準値を設定したこと。

適用期日は告示の日から適用すること。ただし、下表の農薬等ごとに掲げる食品の残留基準値については、告示の日から起算して6月を経過する日までの間は、なお従前の例によること。

運用上の注意として、残留基準値欄が空欄になっている食品及び表中にない食品については、一律基準（0.01ppm）が適用される。ただし、フルメキンは、食品、添加物等の規格基準第1 食品の部A 食品一般の成分規格の1に規定する化学的合成品たる抗菌性物質に該当することから、表中にない食品については、本剤を含有するものであってはならないこと。また、今回残留基準値を設定するフルメキンも含め、局所に投与する注射剤については、注射部位直下に当該成分が高濃度に残留する可能性があることから、と畜検査申請書等により当該成分の使用が確認された場合には、その特性に留意して検査を実施すること。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000535139.pdf>

2 平成30年度食料自給率・食料自給力指標について

8月6日、農林水産省は標記自給率及び指標を公表した。

食料自給率とは、食料の国内生産の国内消費仕向に対する割合で、国内消費をどの程度国内生産で賄えるかを示す指標で、我が国の食料の国内生産及び消費の動向を把握するため、毎年公表。

食料自給力指標とは、国内生産のみでどれだけの食料を最大限生産することが可能かを試算した指標で、我が国の食料の潜在生産能力の動向を把握するため、平成27年から公表。

その主なものは次のとおり。

- ・ カロリーベース食料自給率
平成30年度においては、米の消費が減少する中、主食用米の国内生産量が前年並みとなった一方、天候不順で小麦、大豆の国内生産量が大きく減少したこと等により、37%となった。
- ・ 生産額ベース食料自給率
平成30年度においては、野菜や鶏卵等の単価下落により国内生産額が減少した一方、魚介類の輸出増加等により国内消費仕向額も減少したことから、66%となった。
- ・ 主な食品の自給率（%）（食料需給表）
米 97、小麦 12、いも類 73、大豆 6、野菜 77、牛肉 36、豚肉 48、鶏肉64、鶏卵 96、牛乳・乳製品 59、食用魚介類 59
- ・ 飼料自給率を考慮した畜産物の自給率（%）
牛肉 10、豚肉 6、鶏肉8、鶏卵 12、牛乳・乳製品 25
<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/190806.html>

平成30年度食料自給率・食料自給力指標について

<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/attach/pdf/190806-2.pdf>

食料需給表

<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/attach/pdf/190806-1.pdf>

3 訪日外国人に対する食中毒予防に関するリーフレットについて

8月6日、厚生労働省は医薬・生活衛生局食品監視安全課名をもって各都道府県等衛生主管部(局)食品衛生担当課宛標記事務連絡を出した。その内容は次の通り。

訪日外国人旅行者数は、平成30年（2018年）に3,119万人（出典：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」）に達し、増加傾向となっている。

本年から来年にかけて、ラグビーワールドカップ2019、東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の大規模な国際スポーツイベントが開催され、さらなる訪日外国人旅行者数の増加が見込まれている。

ついては、訪日外国人に対し、日本での食事を、安全に美味しく楽しむためのリーフレット（英語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語、タイ語）を作成しホームページに掲載したので、監視指導の参考として活用されたい。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000536151.pdf>

ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/index.html